

作成日：2023年6月3日

学校法人神戸滋慶学園 神戸医療福祉専門学校三田校
2023年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録

議事録作成者：今在家 信司

1、開催日時：2023年6月3日（土）13：00～15：00

2、開催方法：ZOOM開催

3、参加者：学校関係者評価委員

（氏 名）

田中加代子	近隣関係者（特定非営利活動法人言語障害者の社会参加を支援する会しゃべろーよ地域活動支援センター トークゆうゆう 所長）
川崎万紀代	高等学校関係者（学校法人百合学院中学校・高等学校 校長）
正木健一	業界関係者（株式会社ヌーベルパーク 介護ショップ蓮 管理者）
川端雅生	業界関係者（一般社団法人日本義肢協会 近畿支部 研修委員）
中村元樹	卒業生代表（医療法人社団尚仁会 平島病院 理学療法士）
幸田佳子	保護者代表

学校側参加者

澤村 誠志	神戸医療福祉専門学校三田校 校長
今在家 信司	神戸医療福祉専門学校三田校 事務局長
大牧 良平	神戸医療福祉専門学校三田校 理学療法士科 学科代表
山下 真吾	神戸医療福祉専門学校三田校 作業療法士科 副学科長
今岡 康人	神戸医療福祉専門学校三田校 言語聴覚士科 学科長
棚木 千代美	神戸医療福祉専門学校三田校 救急救命士科 学科長
佐々木 伸	神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科4年制 学科長
山藤 智基	神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科 学科代表
辻野 道子	神戸医療福祉専門学校三田校 整形靴科 学科長

4、会議の概要

- （1）校長挨拶
- （2）2022年度自己点検・自己評価結果報告
- （3）2023年度重点目標の説明
- （4）質疑応答および審議

5、2022年度自己点検・自己評価結果報告

2022年度本校が実施した自己点検・自己評価の内容を下記10項目について説明後、各委員からの質疑応答、そして評価を頂いた。

1. 教育理念・目的・養成人材像
2. 学校運営
3. 教育活動

4. 学修成果
5. 学生支援
6. 教育環境
7. 学生募集と受け入れ
8. 財務
9. 法令遵守
10. 社会貢献・地域貢献

※自己評価・学校関係者評価の結果参照

澤村校長挨拶

本日はお忙しい中、ご出席頂きまして心からお礼申し上げます。

本校は学生さん、高等学校の先生方、業界の皆さん、地域の皆さんから信頼いただける学校を目指しています。また誰もが安心して住み慣れた地域で人生の最後まで生き生きとした生活を支援する専門職の人材を養成しております。今後共ご指導とご協力の程よろしくお願い致します。

【質疑応答】

川端委員) 義肢装具士のことはある程度わかりますが、他の職種のことについて教えて頂ければと思います。言語聴覚士の養成校は全国どれくらいあるのでしょうか。

今岡) 言語聴覚士の養成校は、大学、専門学校合わせて全国に約80校、1年制から4年制まで4種類の課程がありますが、18才人口減少に伴い、大幅に入学人数が減少傾向にあります。

川端委員) 義肢装具士養成校は全国に10校程度ですので、他学科は養成校も多く大変だと思いますが、頑張っ
て欲しいと思います。

今在家) 義肢装具士も養成校は減っています。

川端委員) 業界自体が小さいので、卒業生が多くても受け入れ出来なくなります。言語聴覚士の養成校の学校数
がここまで多いとは思っていませんでした。

田中委員) 私は失語症の家族の立場ですが、失語症や言語障害は本人が外に発信しにくい目に見えない障害です
急性期、回復期、維持期がありますが、回復期でリハビリが終わると介護保険に移行することが多く、
地域での受け入れが必要とされています。失語症の方が安心して暮らすにはまだまだ言語聴覚士の数
が足りていないと感じています。目に見えない障害なので、ここまで出来たらできたという本人の認
識も持ちにくく、地域で障害者、高齢者をつなぐ連携が必要だと思います。

今在家) これからは就職先に変化があると思います。学生の8、9割がまず病院に就職します。病院で様々な
経験をしてから地域へという流れを考える必要があります。学校でも地域や患者さんの生活が見える
教育を進めていければと思います。今は病院での就職を想定した教育内容ですが、地域での就職を考
えた教育を展開していきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

次回開催 2024年2月予定